



# 両岸に

大北川堤防のあじさいロード

# 乳幼児医療費の無料化 来年度実施を市長が明言

## 福田明議員の質問に答えて

7月4日、市議会の一般質問がおこなわれました。豊田市長の就任後、初とあって傍聴席も埋まりました。質問に立った議員は7名。その一番目、日本共産党の福田明議員の質問の概要を紹介します。



はじめに福田明議員は、今回の豊田市長当選の背景について「閉塞感が市民全体に広がる中で、政治手腕への期待があつての当選。

それだけに最初から結果が求められる、前回以上に市長としての責任は重い」と指摘。また、「豊田市長への12年ぶりの質問は、何回となく激論を交わしてきただけに、楽しみであるが、懐かしさがよみがえり、正直やりづらい」と述べる。と傍聴席からは

笑いももれました。

福田議員は市長のマニフェスト(選挙公約)を中心に5点について質問しました。

財政健全化について「本市の実質公債比率18・5%県内ワースト4位を16%に改善するのが市長の目標。その具体策として新規の箱物事業の抑制、および現在実施されている公共下水道等の見直し(縮小)も考えているのか」と質問。市長は「かつてに比べて投資的経費が半減して

### 下水道の二期工事、新病院の立地も見直しへ

いるのは事実。公共下水道については平成22年度からの第2期計画を見直していきたい」と答弁しました。

市立総合病院再生について「就任あいさつで新市民病院建設は凍結すると述べているが、それには立地も含まれるのか。また整形外科・脳外科の医師確保の見直しは？」と質問。市長



は「二ツ島への移転は白紙撤回である」「医師確保は大変だが、懸命に努力するので、今しばらく時間をほしい」と述べました。

保健・福祉の充実について「少子化対策として出産祝金や乳幼児医療費助成制度の拡充等々を掲げているが、これらの公約を確実に実施するよう求める」と

の質問に、市長は「乳幼児医療費助成については来年度の当初予算で考えている」と明言しました。

高萩・北茨城広域工業用水企業団について「経営は大変で07年度予算でも両市の同企業団への補助金・出資金は2億1258万円(内訳・北茨城市1億4641万円、高萩市6617万円)

### かけある記

日本共産党 参議院議員 紙とも子



6月29日から30日の未明にかけて徹夜国会となりました。自民・公明の与党は、年金時効特例法と社会保険庁解体・民営化法案採決、加えて「天下り自由化法案」と指摘される国家公務員法改正案を委員会審議を途中で打ち切り、直接本会議にかけ、数の力で強行しました。

本共産党は退席せず、反対をつらぬきました。本会議が散会したのは、午前2時45分でした。

法案成立先にありきで、強行採決するというやり方自体、議会の民主主義をふみにじるもので許せません。参議院での厚生労働大臣、安倍総理大臣の問責決議、衆議院での不信任案決議提出で、記名投票を何度もくり返して行い、最後の段階で民主党が本会議場を退場した後、日

怒り心頭のまま、札幌市・大通り公園に直行し、12時15分から街頭で報告。その後、「南区女性のつどい」で訴え、2時間かけて苫小牧に移動。偽装問題で大問題になっている、ミートホープ(株)の調査に入りました。こんな暴挙は絶対ゆるせない! 怒りを参議院選挙勝利で示そうと決意に燃えています。

で民間なら完全に倒産である」と指摘したうえで、「公約では市の負担分約1億5000万円を県に肩代わりしてもらおうとしているが、その見直しはどうか」と質問。市長は「県に陳情し鋭意努力し、政治的手腕を発揮していきたい」と答弁しました。

中郷地区の県開発公社の土地(36ヘクタール)の活用について「同地域は歴代市長が様々な構想をえがく舞台となり、かつて豊田市長も大学誘致構想のアドバ

ンを上げたが、構想は夢に終わった。市長は就任

最後に福田議員は豊田市長への対応について「私たちの判断基準はただ一つ。市長が提案する議案が市民の暮らしにとって、役立つかどうかである。『良いものは良い』、『悪いものは悪い』とはつきりした対応をしていきたい」と結びました。